

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウェッズ  
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 稲妻 範彦  
 (氏名) 上村 定芳  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5753-8201  
 平成26年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,911	△1.6	532	0.7	572	6.0	353	4.8
26年3月期第2四半期	10,076	1.9	528	19.1	540	9.8	336	3.0

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 546百万円 (27.5%) 26年3月期第2四半期 428百万円 (86.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	42.65	—
26年3月期第2四半期	40.69	—

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	16,432	10,116	61.6	1,222.02
26年3月期	15,353	9,984	65.0	1,206.01

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 10,116百万円 26年3月期 9,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	1.1	2,100	1.6	2,150	1.5	1,320	1.5	159.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	8,279,158 株	26年3月期	8,279,158 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	240 株	26年3月期	240 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	8,278,918 株	26年3月期2Q	8,278,967 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、上記の株式数につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10
5. 参考情報 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の金融・財政政策により、円安・株高基調が持続しており、引き続き穏やかな回復はみられたものの、個人消費は消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動による落ち込みにより消費需要は低迷しました。また円安によるエネルギーコストの上昇や原材料価格の値上げなどの不安材料も抱えており不透明な状況にあります。

このような環境の中、当連結会計年度の売上高は、消費税の影響により9,911百万円（前年同期比1.6%の減収）と僅かな減収になりましたが、営業利益はグループ丸となった原価改善等により532百万円（前年同期比0.7%の増益）、経常利益は572百万円（前年同期比6.0%の増益）、四半期純利益は353百万円（前年同期比4.8%の増益）となり減収ですが増益となりました。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第2四半期連 結累計期間	8,644	619	273	418	△44	9,911
	前第2四半期連 結累計期間	8,617	744	300	456	△42	10,076
セグメント 利益又は損 失(△)	当第2四半期連 結累計期間	597	△44	△54	22	12	532
	前第2四半期連 結累計期間	522	5	△28	27	1	528

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は、8,644百万円となり前年同期比27百万円（0.3%）の増収となりました。これは、主力であるアルミホイールの売上が回復し特に廉価アルミホイールの売上が好調に推移し増加したためであります。この売上増加及び原価低減により、セグメント利益は597百万円となり前年同期比74百万円（14.2%）の増益となりました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は619百万円となり前年同期比125百万円（△16.9%）の減収となりました。これは、個人消費の落ち込みが大きく影響したためであります。セグメント損失は売上減少により、44百万円となり前年比50百万円と大幅な減益となりました。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、入居者増加に努めてまいりましたが競争は厳しく、273百万円と前年同期比26百万円（△8.9%）の減収となりました。セグメント損失は売上高の減少及び費用削減も進まず、54百万円となり前年同期比25百万円の損失の増加となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高につきましても消費税増税の影響により373百万円となり、前年同期比38百万円（△9.3%）の減収、賃貸事業の売上高は44百万円と前年とほぼ同額となり、合わせて418百万円となり前年同期比38百万円（△8.4%）の減収となりました。セグメント利益は、携帯電話代理店事業においては売上の減少により、1百万円の損失で前年比5百万円の減益となり、賃貸事業は23百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて22百万円と前年同期比5百万円（△19.9%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における資金については、棚卸資産の増加期にあたり短期借入金700百万円を実施し、一方、長期借入金の返済80百万円を実施いたしました。当第2四半期連結累計期間における資金については、運転資金は金融機関より短期借入金で対応し、大規模な設備投資等の必要資金については資金必要時の金融状況を鑑みて、所定の社内手続を経て金融機関より長期及び短期の借入金にて賄う方針であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月13日付当社「平成26年3月期決算短信」にて発表いたしました平成27年3月期の第2四半期累計期間（連結・個別）および平成27年3月期通期（連結・個別）の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,385,262	866,955
受取手形及び売掛金	3,875,055	3,170,783
商品	2,125,785	4,179,072
仕掛品	215,629	195,490
原材料及び貯蔵品	39,584	39,343
繰延税金資産	36,823	33,519
デリバティブ債権	1,121,459	1,333,802
その他	291,281	287,771
貸倒引当金	△5,941	△5,647
流動資産合計	9,084,941	10,101,092
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	3,646,160	3,655,399
減価償却累計額	△1,722,794	△1,779,961
建物及び構築物(純額)	1,923,366	1,875,438
土地	2,374,077	2,374,077
その他	677,939	725,542
減価償却累計額	△512,412	△541,237
その他(純額)	165,526	184,304
有形固定資産合計	4,462,970	4,433,821
<b>無形固定資産</b>		
のれん	147,800	140,650
その他	37,071	45,343
無形固定資産合計	184,871	185,993
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,074,248	1,176,379
繰延税金資産	31,813	52,169
退職給付に係る資産	88,796	83,763
その他	429,143	402,088
貸倒引当金	△2,900	△2,900
投資その他の資産合計	1,621,101	1,711,501
固定資産合計	6,268,944	6,331,315
資産合計	15,353,885	16,432,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,172,357	2,834,434
短期借入金	770,000	1,470,000
未払法人税等	634,477	213,046
繰延税金負債	251,837	353,570
携帯電話短期解約返戻引当金	232	280
賞与引当金	123,546	168,848
役員賞与引当金	29,100	19,450
その他	614,380	543,450
流動負債合計	4,595,932	5,603,081
固定負債		
長期借入金	280,000	200,000
繰延税金負債	151,094	176,251
修繕引当金	42,000	49,000
役員退職慰労引当金	22,868	23,065
退職給付に係る負債	64,363	67,120
資産除去債務	19,169	19,388
その他	194,025	177,527
固定負債合計	773,521	712,352
負債合計	5,369,453	6,315,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	802,090	802,090
利益剰余金	7,415,797	7,354,979
自己株式	△129	△129
株主資本合計	9,070,508	9,009,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,503	223,656
繰延ヘッジ損益	721,771	858,435
為替換算調整勘定	31,648	25,191
その他の包括利益累計額合計	913,923	1,107,282
純資産合計	9,984,431	10,116,973
負債純資産合計	15,353,885	16,432,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,076,258	9,911,094
売上原価	7,639,899	7,530,074
売上総利益	2,436,359	2,381,020
販売費及び一般管理費	1,907,594	1,848,787
営業利益	528,764	532,233
営業外収益		
受取利息	859	585
受取配当金	8,193	8,532
持分法による投資利益	26,689	22,258
助成金収入	—	14,006
その他	3,290	5,261
営業外収益合計	39,032	50,644
営業外費用		
支払利息	4,134	3,388
為替差損	23,187	5,934
その他	246	875
営業外費用合計	27,567	10,197
経常利益	540,229	572,680
税金等調整前四半期純利益	540,229	572,680
法人税、住民税及び事業税	208,020	218,699
法人税等調整額	△4,667	852
法人税等合計	203,352	219,552
少数株主損益調整前四半期純利益	336,876	353,128
四半期純利益	336,876	353,128



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	336,876	353,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,270	63,152
繰延ヘッジ損益	24,190	136,663
為替換算調整勘定	16,147	△6,456
その他の包括利益合計	91,608	193,359
四半期包括利益	428,485	546,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,485	546,487

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,575,358	744,653	300,455	9,620,468	455,790	10,076,258	—	10,076,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,057	49	—	42,106	612	42,718	(42,718)	—
計	8,617,416	744,702	300,455	9,662,574	456,402	10,118,977	(42,718)	10,076,258
セグメント利益又は損失 (△)	522,897	5,630	△28,925	499,602	27,876	527,478	1,286	528,764

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額1,286千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,605,590	613,822	273,604	9,493,017	418,077	9,911,094	—	9,911,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,983	5,287	—	44,270	—	44,270	(44,270)	—
計	8,644,573	619,110	273,604	9,537,287	418,077	9,955,365	(44,270)	9,911,094
セグメント利益又は損失 (△)	597,062	△44,572	△54,598	497,891	22,341	520,233	12,000	532,233

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額12,000千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

株式取得による会社等の子会社化

当社は、株式会社東京車輪との間で、株式会社東京車輪の株式過半数を取得し、子会社化することについて基本合意に達し、平成26年10月30日開催の取締役会で決議しました。

1. 株式取得の理由

当社は厳しい市場競争を勝ち抜ける強い経営体制構築を目指しておりますが、本業であるホイール事業を強化することが最重要な戦略と捉えております。

今回の株式取得により商品調達力、技術ノウハウ等に関してより拡充強化されます。

2. 異動する子会社

①名称	株式会社東京車輪
②所在地	東京都荒川区南千住3-5-7
③代表者の役職・氏名	代表取締役会長 船戸 和男 代表取締役社長 船戸 弘朗
④事業内容	自動車ホイール卸売業
⑤資本金	12百万円
⑥設立年月日	昭和29年7月8日
⑦大株主及び持株比率	船戸 和男 (86.2%)
⑧上場会社と当該会社との間の関係	資本関係…該当事項はありません。 人的関係…該当事項はありません。 取引関係…同社製品の仕入取引があります。
⑨当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財務状態	現在詳細調査中ですが、直近決算である本年9月期の売上高は7億円程度になる見込みです

3. 株式取得の相手先の概要

①氏名	船戸 和男
②住所	埼玉県草加市
③上場会社と当該個人との関係	該当事項はありません

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

①異動前の所有株式数	0株 (議決権所有割合 0.0%)
②取得株式数	詳細を詰めていきますが、現時点では未定です。
③取得価額	
④異動後の所有株式数	

5. 支払資金の調達及び支払方法

未定

6. 日程

株式譲渡に関する契約締結日、株式譲渡実行日については本年中の実施を予定しておりますが現時点では未定です。

## 5. 参考情報

### 株主還元について

当社は(1)1株当たり配当については、普通配当として①中間配当20円、②期末配当30円、年間合計50円を予定しています。

また株主優待として9月末基準で500株以上保有の株主に対して保有株式数に応じ4段階に区分したクオカードを贈呈しています。

500株以上	3,000円相当のクオカード
1,000株以上	5,000円相当のクオカード
5,000株以上	10,000円相当のクオカード
10,000株以上	20,000円相当のクオカード

これら配当と株主優待を合わせると年間では1株当たり56円の還元となります。

(株主優待について500株で3000円相当のクオカード贈呈であることから、ここでは1株6円にて計算しています)